

## ブルンジ月報（2024年9月）

### 1. 内政・外政

- 3～8日、ンダイシミア大統領は中国アフリカ協力フォーラム（FOCAC）出席のため、外務大臣、環境・農業・畜産大臣、エネルギー・鉱物資源大臣などと共に訪中した。習近平国家主席との首脳会談のほか、中国企業関係者との意見交換、紫禁城の視察などを行った（ブルンジ大統領府 X 公式アカウントにおける同期間の投稿）。
- 20日、サブシミケ国民連帯大臣は中国による1,700トンの米の無償供与式に出席した。趙駐ブルンジ中国大使は、今次食糧援助の目的が二部制の学校や脆弱層への裨益を目的としたものである旨説明し、サブシミケ大臣は中国が毎年ブジュンブラの孤児院にも食糧援助を行っていることへの謝意を表明した（20日付 RTNB）。
- 24日、上院は、20カ国の紛争経験国が加盟し、紛争解決や良いガバナンスなどに関する知見の共有を目的とする「G7プラス」へのブルンジの加盟を目的とした同グループの設立規約を採択した。同グループにはブルンジのほか、コンゴ（民）、南スーダン、ハイチ、リベリア、シエラレオネなども加盟している（24日付 RTNB）。

### 2. 開発協力

- 17～18日、アフリカ開発銀行（AfDB）の創設60周年を記念する複数のイベントがブルンジで開催された。1968年にAfDBに加盟して以来、ブルンジではエネルギー、インフラ、交通輸送、農業といった重要分野における173のプロジェクト（総計15億2千万ドル）が同行の援助で実施されている（19日付 Iwacu）。

### 3. 経済

- 14日、ブルンジ国内で砂糖の販売を手がける大手半官半民企業の「SOSUMO」は、砂糖1キロあたりの販売価格を3,200ブルンジフラン（BIF）から8,000BIFに値上げすることを発表した。同社のンダイケングルキエ代表は、今次値上げは国際市場及び国内市場における物価や原材料費の高騰を踏まえたものであると説明し、国民生活に大きな影響を与えている（27日付 Iwacu）。

以上